

2013 年度 東京大学地震研究所共同利用研究集会

「地震の研究者と小・中・高等学校教員との連携  
—地震教育の現状に即した知識普及活動を目指して—」

- ・開催日時：2013 年 12 月 26 日（木）・27 日（金）  
（12/26：11:30～18:00（～19:30）、12/27：9:30～（終了予定 18:00））
- ・開催場所：東京大学地震研究所 1 号館 2 階セミナー室  
東京メトロ南北線「東大前」駅下車 徒歩数分  
東京メトロ千代田線「根津」駅下車 徒歩 10～15 分程度  
[http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/access\\_map/](http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/access_map/)
- ・共催：（公社）日本地震学会
- ・後援：（公社）日本地球惑星科学連合

**本研究集会開催の趣旨：**

現在の学校教育，特に理科教育で取り扱われている地震の内容を，研究者が具体的に把握する方法を探るため，現状の学校教育に対する知識の共有を図り，研究者と学校での教育者とでその方策について議論することが，本研究集会の第一の目的です。

さらに，具体的にどの様な知識普及方法が望まれるか，研究者と学校教諭との共通理解を，議論を通して得ることが第二の目的です。

12 月 26 日（木）

11:10～11:30 受付

● オープニング・セッション

- 11:30～11:40 開会挨拶：根本 泰雄（桜美林大学自然科学系・東京大学地震研究所（客員））  
「本研究集会の趣旨説明」
- 11:40～12:00 基調講演 1：加藤 照之（東京大学地震研究所）  
『地震教育への今後の期待』
- 12:00～12:30 基調講演 2：竹本 修三（京都大学名誉教授・NPO 法人あいんしゅたいん基礎科学研究所）  
『地学教育はどこに向かうか』

● 「高校での現状と課題」

- 13:30～14:10 八木 勇治（筑波大学大学院生命環境科学研究科）  
『「地学基礎」「地学」の問題点について』
- 14:10～14:50 宮嶋 敏（埼玉県立深谷第一高等学校）  
『現行高校学習指導要領「地学基礎」の教科書作成に関わって（仮題）』
- 14:50～15:00 根本 泰雄（桜美林大学自然科学系，東京大学地震研究所（客員））  
話題提供  
『地震教育，地震防災・減災教育の高校での現状と課題』
- 15:00～15:10 中島 健（滋賀県立大津清陵高等学校）  
『高校地学は盤石か？ （1）教科書採択数と教員採用数を見る』

【休憩】 15:10～15:30

- 15:30～15:50 美澤 綾子（静岡県立静岡高等学校）  
『文系のための地学，理系のための地学（仮題）』
- 15:50～16:10 中島 健（滋賀県立大津清陵高等学校）  
『高校地学は盤石か？（2）「地学」と「科学と人間生活」教科書を見る』
- 16:10～16:30 川村 教一（秋田大学教育文化学部）  
『高校生が高校地学に求める地震の学習とは（仮題）』

16:30～17:10 【総合討論】

● 「中学校での現状と課題」

- 17:10～17:50 伊東 明彦（宇都宮大学教育学部）  
『中学校理科における地震教育の現状と課題 - 教科書の内容から』

18:00～19:30 【懇親会】 東京大学地震研究所 1号館 2階ラウンジ

12月27日（金）

9:20～9:30 受付

● 「中学校での現状と課題」 つづき

- 09:30～09:50 根本 泰雄（桜美林大学自然科学系，東京大学地震研究所（客員））  
話題提供  
『地震教育，地震防災・減災教育の中学校での現状と課題』
- 09:50～10:10 高橋 和光（江戸川区立小岩第二中学校）  
『都内の中学生の学力と中学校理科教科書の比較』
- 10:10～10:30 佐藤 明子（平塚市立中原中学校）  
『教科教育と防災教育をつなげる実践例の紹介』
- 10:30～10:50 林 信太郎（秋田大学教育文化学部）  
『中学校教員にはどのような地震教育と地震教材が必要か？』

【休憩】 10:50～11:00

11:00～11:20 【総合討論】

● 「小学校での現状と課題」

- 11:20～11:40 根本 泰雄（桜美林大学自然科学系，東京大学地震研究所（客員））  
話題提供  
『地震教育，地震防災・減災教育の小学校での現状と課題』
- 11:40～12:20 渡邊 正人（川崎市立宮前平小学校）・阿部 國廣（元川崎市立小学校）  
『小学校理科地学教育の取り組み～授業と研修の試み～（仮題）』

【昼食・休憩】 12:20～13:50

- 13:50～14:10 藤岡 達也（滋賀大学教育学部）  
『教員養成における防災（地震）教育の現状と課題  
－教育界及び教育大学の動向と潮流を踏まえて－』

14:10～14:30 【総合討論】

● 「学校以外の施設と学校との連携における現状と課題」

- 14:30～15:00 大木 聖子（慶應義塾大学）  
『科学コミュニケーションの政策背景と現状の課題』
- 15:00～15:20 桑野 修（海洋研究開発機構）  
『動的な地震現象の理解のための実験・演習教材の開発と実践  
～高校生への実習実施例と課題～』

【休憩】 15:20～15:30

- 15:30～15:45 酒井 慎一（東京大学地震研究所）  
『校庭に設置した地震計と出前授業における課題（仮題）』
- 15:45～16:00 市原 美恵（東京大学地震研究所）  
『大学研究者の視点から』
- 16:00～16:15 磯部 博志（熊本大学大学院自然科学研究科）  
『地域の地形と地学的想像力ー野外観察による実践例』
- 16:15～16:30 高橋 栄一（東京工業大学大学院理工学研究科）・磯部 博志（熊本大学大学院自然科学研究科）  
『大学における地学教育の参照基準と人材育成』

16:30～17:20 【総合討論】（18:00 まで延長可能性あり）

司会：根本 泰雄・山野 誠

パネラー：藤岡 達也・加藤 照之・八木 勇治・伊東 明彦・宮嶋 敏・磯部 博志・  
高橋 栄一